



語り得ぬものを語る

—グローバル時代の禅の言葉と翻訳

10:00~12:10 基調講演

● 出口康夫(京都大学)「語り得なかったものを語る:道元の『真なる自己』のトロープ解釈」

● 龔雋(広州/中山大学)「宋代文字禅の思想史的分析」

司会:古勝隆一(京都大学)

通訳:土屋太祐(新潟大学)

13:10~15:15 翻訳・道元・東アジア哲学

● Wittern, Christian(京都大学)「道元を英訳する」

● 上原麻有子(京都大学)「翻訳を哲学する—西田哲学における言語化の問題に基づいて」

● 齋藤智寛(東北大学)「馮友蘭の哲学における禅」

コメント&質疑応答:石井清純(駒澤大学)、氣多雅子(京都大学)、山田俊(熊本県立大学)

司会:水野友晴(関西大学)

15:35~17:50 言葉・禅解釈の諸相

● 柳幹康(東京大学)「永明延寿による仏教の再編:禅による教・律・浄土の捉え直し」

● 長野邦彦(お茶の水女子大学)「道元における言語の位置づけと体用論批判について」

● 佐久間祐惟(東京大学)「虎関師錬の禅思想における言葉」

コメント&質疑応答:土屋太祐(新潟大学)、頼住光子(駒澤大学)、和田有希子(早稲田大学)

司会:石井公成(駒澤大学)

総評:末木文美士(国際日本文化研究センター)

閉会の挨拶:何 燕生

18:30~懇親会(会費制)

2025年2月15日
10時~17時50分
京都大学人文科学研究所分館(北白川)

主催:京都大学人文科学研究所

共催:科研費基盤(B)24k00013「禅の言葉と翻訳に関する学際的研究—『正法眼蔵』の諸外国語訳の比較分析を通して」

お問い合わせ:京都大学人文科学研究所 総務課 Tel:075-753-6902(平日 9:00~17:00)

申込み不要

聴講無料

